

SSTL 虹のかけはし 私たちからあなたへ

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0011 川口市元郷1-10-13
編集人 社会福祉法人 川越にじの家
障害者支援施設 にじの家
施設長 菊池 崇臣
〒350-0002 川越市古谷本郷9-9-2番地
TEL 049-236-0666
FAX 049-236-0665
http://www.k4.dion.ne.jp/~nijinoie/
E-mail:niji@w6.dion.ne.jp
郵便振替口座番号 00180-5-657610
購読料 1部100円

No. 61

新年度に向けて

中長期展望に立つて

理事長 野本 和幸

福祉の原点は「人と人のかかわり」です。働きがいのある職場づくりはこれからも経営の基本であり、そのための取り組みが日々求められます。毎朝の年度目標やヒヤリハットの確認などは一体感のある職場や危機管理には欠かせません。今後、一層の工夫の中で継続していくことが安定経営にもつながっていくものと考えます。

そして、法人の経営指針となる支援理念の具現化、また、国で進められている社会福祉法人改革などにも対応するため、将来を展望した経営戦略が問われなくてはなりません。

そこで、法人経営を効率的、効果的に進めていくため中長期計画の立案が必要と考えます。法人が抱えている様々な課題の優先順位を決めるなどの中で策定していく必要があります。

一方、当面の最大の課題は昨年度から川越市と協議を進めてきましたグループホームの今年度中の着工、実績をもとにさらなる増設であります。

今年度も変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

新たな取り組みに向けて

施設長 菊池 崇臣

春は日本で入学式や入社式の季節です。私子どもも頃は入学式の頃に桜が満開でしたが、今では三月の卒業シーズンに桜が満開になり、入学式の頃は散り始めているのが常になりつつあります。特に今年四月に雪が降ったりで春が来たと思ったり冬に逆戻りと、皆様も体調管理に苦慮されたのではないのでしょうか。そんな中、当施設も新年度に三名の生活支援員が就職しました。年々、人材の確保が厳しくなってきたことを実感している中で三名の採用でしたので、当施設は幸運に恵まれたと言えると思っています。これからの活躍に期待をし、全職員でよりよい利用者支援を追求していく所存です。

さて、今年度は念願だったグループホーム建設着工を実現させることを最優先課題とし、法人の経営活動を進めていきます。まだ解決の必要な事項が残っておりますが、早い段階で決着をつけたいと思います。と同時に、法人としては新たな取り組みの検討に入る予定です。既存事業の補完的な活動のみならず、社

会福祉法人の本旨に従い、他の経営主体では対応困難な福祉ニーズへの対応も視野に入れていきたいと考えております。

一步の前進を目指して

後援会会長 田中 恒志

平成二十七年年度の定例総会が多くの会員のご出席のもと先日開催され、二十六年年度の活動状況及び決算について承認されました。続いて二十七年年度の活動目標及び会計予算について二十六年度以上の成果を上げるべく期待を込めて承認されました。役員体制は二十六年に続いて職員が留任として承認され全員気持ちも新たに努力して実りある成果を目指して取り組む事となりました。皆様には一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。特に今年度は昨年迄取り組んできました広報活動の一層の取組みと加えて作業所で利用者が製作している作品の販売に施設に協力して取り組む事としてあります。利用者が日々一生懸命製作している作品を一つでも多くの人に使うて頂けるよう協力していく所存です。又今年も恒例の『ふれあい福祉まつり』が五月に伊佐沼公園で開催されます。

毎年多くの仲間の皆さんとボランティアの方も参加され、各施設からも多くの出店があり、大変にぎやかなお祭りとなっております。大勢の出会いがあつて楽しい福祉祭となっております。是非皆様も参加され、福祉の輪が広がって行くことに期待をしたいと思います。

新年度に向けて

家族会会長 桜井 栄子

平成二十七年年度後援会役員

- 会長 田中 恒志
- 副会長 宇山 星子
- 書記 小笠原 直美
- 会計 井口 信子
- 会計監査 野本 寿美

「あつ」と言う間の桜も散り初夏の清々しい季節となりました。自然の移ろい、時の流れは人の気持ちも浄化してくれるものだと実感しています。にじの家が開所してその後私も理事、理事長の職を辞してから暫くは仲間の皆様熱心に家族会、後援会、評議員と活躍なさっているのを尻目にどうしても気持ちが付いていかず、それらの仕事から逃げの姿勢を取っていました。しかし、やっと今年度は仲



◆平成二十七年年度家族会役員

- 会長 桜井 栄子
 副会長 遠藤 裕子
 書記 岡 照代
 会計 佐藤 美代子
 会計監査 岸 麗子

間の力を借りながら会長をお受けする決心をいたしました。年齢のせいにはしたくないと思いながら、消極的な事業内容に所属部の若い会員さんには物足りなさがあるのではないかと心配しております。ごつごつ意見ご希望を私共にお届け下さい。施設長のお力も借りながら入所部と一緒に良かつたと思っただけのような家族会にできればと考えております。又、にじの家ふれあい祭りへの関わり方についても会員相互の話し合いを持ちながら決めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 27 年度 事業 計 画

開設2年になる相談支援事業所は順調に運営されてきております。そうしたなかで地域ニーズに対応していくことを目的としたグループホーム建設については前年度より関係部署と協議を進めてきました。27年度は着工に移すことが最大の課題となっております。

一方、国においては社会福祉法人改革について議論がされており、経営の透明性の確保や地域における公益的取り組みなどが問われております。効率、効果的な経営に努め、法人に求められる責務を具現化していくためにも中長期的計画を立案する必要があります。今後の事業展開、老朽化に伴う施設改修や利用者の生活環境の整備など課題を整理し策定して行く必要があります。また、良質な利用者支援の維持、継続のためには、職員にとって働きがいのある職場づくりが不可欠であり、一丸となって取り組み、同時に地域とのふれあいと融和を一層推進してまいります。

平成 27 年度 収支 予算書

【社会福祉法人川越にじの会 収支予算書】

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
1 寄付金収入	500,000	1 人件費支出	1,600,000
2 雑収入	480,000	2 事務費支出	130,000
3 拠点区分間繰入金収入	4,000,000	経常支出計	1,730,000
経常収入計	4,980,000	建設仮勘定	3,000,000
		(予備費)	250,000
収入合計	4,980,000	支出合計	4,980,000

【障がい者支援施設にじの家 収支予算書】

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
1 介護給付費収入	237,600,000	1 人件費支出	170,020,000
2 特別介護給付費収入	6,533,000	2 事業費支出	39,685,000
3 利用者負担金収入	18,960,000	3 事務費支出	16,553,000
4 経常経費補助金収入	1,108,000	4 拠点区分間繰入金支出	14,000,000
5 寄付金収入	1,500,000	経常支出計	240,258,000
6 雑収入	5,000,000	固定資産取得支出	3,000,000
経常収入計	270,701,000	積立預金積立支出	26,000,000
		(予備費)	1,443,000
収入合計	270,701,000	支出合計	270,701,000

【障がい者支援施設にじの会 短期入所 収支予算書】

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
1 介護給付費収入	1,600,000	1 人件費支出	1,451,900
2 利用者負担金収入	120,000	2 事業費支出	193,000
3 経常経費補助金収入	20,000	3 事務費支出	0
経常収入計	1,740,000	経常支出計	1,644,900
		(予備費)	95,100
収入合計	1,740,000	支出合計	1,740,000

【相談支援事業 収支予算書】

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
1 サービス利用計画作成収入	3,520,000	1 人件費支出	15,158,000
2 経常経費補助金収入	5,264,000	2 事業費支出	795,000
3 拠点区分間繰越金収入	10,000,000	3 事務費支出	1,680,000
経常収入計	18,784,000	経常支出計	17,633,000
		固定資産取得支出	400,000
		(予備費)	751,000
収入合計	18,784,000	支出合計	18,784,000

新しい仲間が増えました

入所者紹介

◆杉浦 涼さん

四月より、新しくにじの家の仲間となりました。新しい環境に早く慣れていただけよう、皆で支えていきたいと思ひます。宜しくお願ひします。



*誕生日

平成八年
十一月
二十七日

*趣味

ドライブ・散歩

*好きな食べ物
好き嫌ひなく、なんでも大好きです。

現在、本やCDの付録の解体作業などをしていきます。始めは、



難しい様子も見られましたが、徐々に作業にも慣れてきてあり、一生懸命に取り組んでいきます。

入職者の紹介

新年度となり、新たに3名の生活支援員がにじの家の職員となりました。チーム一丸となり、利用している皆様の生活を支えていきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

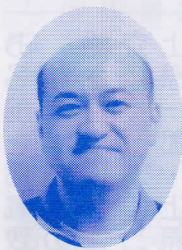
支援員 新保 明

*誕生日 十月十一日

*出身地 青森県

*趣味 美術館鑑賞

*誰にも負けないこと
何時間でも人の話を聞けること



四月よりC棟に配属となりました新保明です。一人ひとりの利用者の方と真剣に向き合い、人間関係を構築し、共に成長していきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

支援員 須永 幹子

*誕生日 十月十六日

*出身地 群馬県 館林市

*趣味 マラソン

*誰にも負けないこと
大食い(特に肉!)

四月よりC棟に配属となりました須永幹子です。大学では、社会福祉を専攻していました。利用者の方と信頼関係が築けるよう、頑張りたいと思ひますので、宜しくお願ひ致します。



支援員 田中 真澄

*誕生日 二月十六日

*出身地 埼玉県 富士見市

*趣味 写真撮影

*誰にも負けないこと
人のペースに流されない



四月よりD棟に配属となりました田中真澄です。大学では、保育を専攻していましたが、障がいに関わりたくこの職種を選びました。未熟者ですが、宜しくお願ひ致します。

元気であるために

今できること

看護師 梅澤 秀江



四月より新年度がスタートしました。にじの家では、五月に健康診断が予定されていますが、皆さんは健診の予定を立てていらっしゃるでしょうか? また、健診を受けていて異常値があっても、自覚症状がないから大丈夫と放置している人はいませんか? 肥満・高血圧・高血糖・肝機能が悪い・脂質異常・尿酸値が高め等は、食事や喫煙などの生活習慣を改善すれば、病気を未然に防ぐことができます。近年、日本では糖尿病や高血圧症などの生活習慣病が増え続け、日本の死因の三分の二を占めていると言われています。病気になるって一番辛い思いをするのは他人ではなく本人です。予防をすることでより病気になる体には、もし、病気になるっても初期段階であれば軽い治療で済みます。また、遺伝子による場合は、生活習慣の改善では治りにくいため、薬を飲む等の治療が必要になることもあります。いつまでも元気であるためにも、健診で身体の状態を確認しましょう。

ボランティア紹介&お知らせ

◆今号までにお世話になった

方々を紹介致します◆

紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

《散髪・棟・作業》

鶴見修・鶴見真哉・関口留美子・

横山晃・GS会・谷平秀子

《ご協力頂いた企業》

ソーラ電機・立原電機(株)・(株)服

部金属・泉名本店・鈴木酒店・

金子商店・岡田屋・春陽苑・(有)

ヨシタ・出口商店・角田屋酒店・

江島工業・虎屋商事(株)・(株)富士

薬品・三陽工業・川越市リサイ

クルセンター・川越東高等学校

・えすばわーる伊佐沼・(株)平井

スチール・西村工業(有)・日本サ

ツシガラス(株)・川松電機・(有)加

藤工業・常盤工業(株)・(株)栄製

作所・ぼぶらの樹・グリーン口

シテック(株)・(有)日東建設工業・

埼玉精機(株)・川越工場・川越ア

トレ 福祉の店・南古谷大樹作

業所・高階市民センター内福祉

喫茶 茶房ひととき・川越市役

所

くじの家の生活や行事におき

ましてお世話になり、心から感

謝と御礼を申し上げます。

☆☆皆様からの

【ご支援に感謝して☆☆】

平成二十七年一月一日から
三月の末日まで「川越にじの会
後援会」にご寄付頂いた方々の

お名前を掲載致します。
なお、紙面の都合上、敬称は
略させて頂きます。

《後援会加入者》

上原一郎・上原満里・富永昭太

郎・山田容旨枝・野本和幸

後援会会員募集

「にじの会」の活動をご支援く

ださる会員にご加入下さい。

【会費】 年額一〇

個人 二、〇〇〇円

法人 一〇、〇〇〇円

【郵便振替口座】

番号 〇〇180151657610

名称 川越にじの会后援会

《一般寄付者》

社会福祉法人川越にじの会 後援会

評議員改選

去る平成二十七年三月二十九
日に開催された理事会におい
て、任期満了に伴う評議員の
選任が行われました。新たに選
任された評議員は次の十五名で
す。

- 阿部 浩一・飯田志津江
- 大森 照子・粕谷多喜男
- 粕谷 正美・金澤 昌敏
- 唐津 明・黒沼 淳子
- 小池 陸嗣・越澤 武紀
- 佐々木裕美・鈴木 貢
- 高橋 潤・福本 麻紀
- 山本 良矢 (五十音順)

《任期》

平成二十七年四月一日

平成二十九年三月三十一日

退職者紹介

*支援員

堀井 由紀さん

平成二十七年三月三十一日付

佐々木 陽太郎さん

平成二十七年三月三十一日付

*非常勤職員

田島 由佳さん

平成二十七年三月三十一日付

*看護師

矢尾板 恵美子さん

平成二十七年三月三十一日付

編集後記

新年度を迎え、新たなメ
ンバーで広報誌の作成にあ
たりました。今回も職員間
でアイデアを出し合い、
読み手に分かりやすい文章
構成であることなどを重点
に置いて取り組みました。
次号も今号に負けないく
らいの広報誌にしてください
で楽しみにしててください。

【広報担当】

日限聡 佐藤照美

重野涼子 中村日向子

須永幹子 田中真澄